

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	有機半導体分子の合成とナノ組織化による高効率光電変換
研究代表者	中村 栄一
審査の所見	<p>高効率有機薄膜太陽電池の開発は緊急課題である。本研究は、有機化学において世界レベルの業績を挙げている応募者が、新規分子の設計・合成、階層的ナノ組織化デバイス構造構築、半導体組織のナノ構造解析に基づいて行う高効率有機薄膜太陽電池開発を見据えた基礎研究である。基礎学術の創成として、卓越したキャリア輸送達成のための分子設計、電極界面を含む高次構造体の積層状態と集合体の電子状態の明確な設計制御及び広域波長光の利用や励起状態の長寿命化などに、独創的かつ波及効果のある提案・成果が期待できると高く評価できることから、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>